

会 議 録

| | |
|-------|---|
| 会議の名称 | 茨木市建設事業評価委員会 |
| 開催日時 | 令和3年1月18日(月) 午後1時00分 開会 ・ 午後2時20分 閉会 |
| 開催場所 | 市役所南館3階 防災会議室 (Web会議) |
| 議長 | 【委員長】 澤木 昌典 (大阪大学大学院教授) |
| 出席者 | <p>【委員】 (50音順)</p> <p>木村 正文 (茨木商工会議所専務理事)</p> <p>高村 学人 (立命館大学教授)</p> <p>中谷 祐介 (大阪大学大学院助教)</p> <p>延原 理恵 (京都教育大学教授)</p> <p>【市】</p> <p>(総務部)</p> <p>森岡 恵美子 (総務部長)</p> <p>西川 恵三 (危機管理監)</p> <p>吉田 憲彦 (危機管理課長)</p> <p>中島 航 (危機管理課係長)</p> <p>(建設部)</p> <p>中田 弘之 (建設部長)</p> <p>田邊 武志 (建設部次長兼下水道施設課長)</p> <p>吉村 雅成 (下水道施設課 課長代理兼係長)</p> |
| 欠席者 | なし |
| 事務局職員 | 建設部建設管理課長、同課 課長代理、同課 総務係長、係員2名 |
| 開催形態 | 公開 (傍聴者0人) |

| | |
|---------------|---|
| <p>議題(案件)</p> | <p>(1)「茨木市内における一時避難地防災機能の強化(防災・安全)」の事後評価について</p> <p>(2)「社会資本総合交付金事業(下水道)」の事後評価について</p> |
| <p>配布資料</p> | <p>【資料1】事業評価説明資料「茨木市内における一時避難地防災機能の強化(防災・安全)」</p> <p>【資料2】社会資本総合整備計画「茨木市内における一時避難地防災機能の強化(防災・安全)」</p> <p>【資料3】事後評価書(案)「茨木市内における一時避難地防災機能の強化(防災・安全)」</p> <p>【資料4】事後評価説明資料「社会資本整備総合交付金事業(下水道)」</p> <p>【資料5】社会資本総合整備計画「茨木市における総合的な下水道整備の推進(その2)」</p> <p>【資料6】社会資本総合整備計画「茨木市における総合的な下水道整備の推進(その2)(重点計画)(防災安全)」</p> <p>【資料7】社会資本総合整備計画「茨木市における総合的な下水道整備の推進(その2)(防災安全)」</p> <p>【資料8】事後評価書(案)「茨木市における総合的な下水道整備の推進(その2)」</p> <p>【資料9】事後評価書(案)「茨木市における総合的な下水道整備の推進(その2)(重点計画)(防災安全)」</p> <p>【資料10】事後評価書(案)「茨木市における総合的な下水道整備の推進(その2)(防災安全)」</p> |

議 事 の 経 過

| 発 言 者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|-------|--|
| 森岡部長 | 【あいさつ】 |
| 西野課長 | 【当委員会委員、総務部出席者の紹介】 |
| 各委員 | 【委員会規則第5条第1項の規定に基づき、委員の互選によって、澤木委員を委員長に選出】 |
| 澤木委員長 | 【あいさつ】 |
| 澤木委員長 | 職務代理に中谷委員を指名する。本日の委員の出席状況の報告を、事務局に報告を求める。 |
| 西野課長 | 会議については、委員会規則第6第2項により委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができないが、本日は5名中5名の委員が出席されているので、会議は成立している。 |
| 澤木委員長 | 会議の公開について、事務局に説明を求める。 |
| 西野課長 | 【会議の公開について説明】 (1) 会議開催にあたっては、個人に関する情報を審議する場合を除き、公開が原則である。 (2) 会議資料は、傍聴人に閲覧させ、配布することができる。 |
| 澤木委員長 | 事務局からの説明について、各委員に意見を求める。 |
| 各委員 | 異議なし。 |
| 澤木委員長 | 委員会として会議を公開すると決定したので、傍聴者の入室を許可する。 |
| | 【傍聴者入室は無し】 |
| 澤木委員長 | 会議録及び会議資料の公開について、事務局に説明を求める。 |
| 西野課長 | 【会議録及び会議資料の公開について説明】 (1) 会議録は、発言内容等を要約したものを公開する。 (2) 発言者については、名前を表記する。 会議録の公表に当たっては、各委員に事前内容を確認してもらう。 |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|-------|--|
| 澤木委員長 | 事務局からの説明について、各委員に意見を求める。 |
| 各委員 | 異議なし。 |
| 澤木委員長 | 本日の会議について、事業担当課に説明を求める。 |
| 中島係長 | <p>【配布資料の確認】</p> <p>【社会資本総合整備計画「茨木市内における一時避難地防災機能の強化（防災・安全）」の事後評価について説明】</p> |
| 澤木委員長 | 事業担当課からの説明について、各委員に意見を求める。主な審議項目は、「事業効果の発現状況」、「目標値の達成状況」、「今後の方針」等である。 |
| 中谷委員 | 目標値達成状況は問題ないと考える。必要となるトイレ数などが定められていると思うが、必要となる個数は今回の整備で全て整備されたと考えてよいのか。 |
| 中島係長 | それぞれの設備の必要数を国土交通省のガイドライン等を参考に算出しており、必要数を整備した。 |
| 澤木委員長 | 一時避難地の運営について、備蓄倉庫に必要な備品等を保管していると考えますが、市が開錠しないと使えないのか、それとも地域団体が発災後すぐに使用できる体制になっているのか。 |
| 中島係長 | 現在の体制では発災後、市職員が備蓄倉庫を開錠して回る想定です。今後、地域への鍵の共有についても検討し、円滑な対応が図れるよう努めていく。 |
| 中谷委員 | どのくらいの地域から説明会の開催要望があるのか。 |
| 中島係長 | 要望としていただいている地域は少数であるが、整備内容を知りたいという声は多く聴いているので、多くの地域で開催できるよう努めていく。 |
| 中谷委員 | 今後の方針等に関する意見であるが、地域の方々が存在を知らないとな活用できない。周知も含めて説明会をしっかりとやっていただきたい。 |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|--------|---|
| 中島係長 | 令和2年度には、整備した一時避難地全てにおいて、説明会の開催を予定していた。コロナ禍で実施を見送ったが、収束状況を見据えながら今後迅速に進めたい。 |
| 澤木委員長 | 事業の発現状況について、防災訓練も実施していることから、防災訓練実施に関する記述を追記してはどうか。 |
| 中島係長 | ご指摘のとおり資料の修正を行う。 |
| 澤木委員長 | 本日の意見等を踏まえ、事業担当課においては、事後評価シートを一部修正のうえ、公表することでよいか。 |
| | 異議なし |
| 澤木委員長 | 次第4(2)について、事業担当課に説明を求める。 |
| 吉村課長代理 | <p>【建設部出席者の紹介】</p> <p>【配布資料の確認】</p> <p>【「社会資本総合交付金事業(下水道)」の事後評価について説明】</p> |
| 澤木委員長 | 事業担当課からの説明について、各委員に意見を求める。 |
| 中谷委員 | 特定環境保全区域人口普及率について、最終目標値に対して実績値79%とのことだが、下水道に接続していない家屋等は処理をどうしているのか。 |
| 田邊次長 | 汲み取りや個別浄化槽で処理されている。 |
| 中谷委員 | 費用負担の問題を解決するのは難しいが、公共用水域の汚濁負荷を減らすには浄化槽など下水道以外の処理も考えられる。今後の方向性について教えてほしい。 |
| 田邊次長 | 個別浄化槽の場合、基準に適合すれば、公設浄化槽に移管をしていただいている。普及率の向上に向け、今後も下水道への切替について丁寧な説明に努めていきたい。 |
| 澤木委員長 | 資料8の今後の方針については、そういったニュアンスの記述に変えた方が良い。 |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|-------|---|
| 中谷委員 | これまでの方針に加え、私設浄化槽を公設浄化槽に移管することも含まれるような表現に変えた方が良い。 |
| 延原委員 | 雨水貯留タンク設置の実施率だが、目標値から差が生じた要因として一定いきわたっているような記述があるが、今後の方針ではさらなる普及促進に努めるとしている。何か対策や手段を考えているのか。 |
| 田邊次長 | 雨水貯留タンクは、補助制度の申請件数が、最近減少しているため、このような評価とした。雨水貯留タンクは、市民の皆さんに雨水流出抑制にご協力いただきながら取り組む施策であり、引き続き広報誌やホームページなどで広報活動を行い、普及促進に努めていく。 |
| 澤木委員長 | 設置希望者には大体行き渡ったが、今後も設置される方を増やしていく努力をするということか。 |
| 田邊次長 | そうである。 |
| 澤木委員長 | 雨水貯留タンクに関する効果発現状況については、実施率が低いため、流出抑制が図れたと断定して良いのか疑問である。 |
| 田邊次長 | これまでに設置していただいた雨水貯留タンクが、雨水の流出抑制にどれほど寄与しているか数値化しにくいいため、このような表現とした。 |
| 澤木委員長 | 雨水貯留タンクにより流出抑制が一定図れたとするのが良いと考える。 |
| 田邊次長 | 一定を追記する。 |
| 中谷委員 | 雨水貯留タンクについて、各家庭に設置するタンクの容量では治水効果を得るのは難しいが、散水などに利用する環境的側面としての効果は期待できる。雨水貯留タンクの目的はあくまでも治水効果を得ることか。 |
| 田邊次長 | 治水効果を得ることよりも雨水流出抑制や節水等による下水道負荷の低減に対する市民意識の向上が目的である。治水については、主に市においてハード対策を進めている。 |
| 中谷委員 | 了解した。 |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|--------|---|
| 高村委員 | ポンプ場の長寿命化と、下水道管の長寿命化の実施率が目標を下回った理由の一つに予算の平準化とあるが、どういうことか。 |
| 田邊次長 | 下水道経営戦略において、年間整備費の平準化を掲げている。長寿命化には多額の費用を要するため、対象施設すべてを長寿命化するのではなく使用できる施設は適切に対処しながら進めてきた結果、目標には至らなかった。 |
| 吉村課長代理 | また、国の交付金が27年度、28年度、29年度は予定通り得られなかったため、事業を後年度へ送らざるを得なくなった。 |
| 高村委員 | 理解した。 |
| 澤木委員長 | 防災安全の今後の方針に、中央ポンプ場のあり方検討とあるが、廃止も含めて、検討しているということか。 |
| 田邊次長 | 中央ポンプ場は設備や躯体がかなり老朽化しており、建て替えに向けた議論を進めたいと考える。 |
| 澤木委員長 | 了解した。 |
| 澤木委員長 | 本日各委員よりいただいた意見等を踏まえ、事業担当課で事務評価書を作成の上公表することで良いか。 |
| 各委員 | 異議なし。 |
| 澤木委員長 | 「茨木市内における一時避難地防災機能の強化（防災安全）」、「社会資本総合交付金事業（下水道）」について、審議したが、いずれも事後評価の手続きは概ね適正に進められており、今後の方策についても、事業の実施を踏まえたものとなっていることを当委員会として確認して良いか。 |
| 各委員 | 異議なし。 |
| 澤木委員長 | それでは、本日の議事は終了とし、進行を事務局へお返すする。 |
| 西野課長 | 令和2年度の建設事業評価委員会における案件の審議は終了した。当委員会の閉会にあたり、中田建設部長からあいさつを申し上げる。 |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|------------------|---|
| 中田部長 西野課長 | 【あいさつ】 それでは、本日の会議はこれをもって終了とする。長時間にわたりご協力をいただき、お礼を申し上げます。 <p style="text-align: right;">以上</p> |